

特定外来生物 クビアカツヤカミキリ 警戒中！！

～発見時には情報提供をお願いします～

- クビアカツヤカミキリは、幼虫がサクラやウメ、モモ、スモモなどの樹木の中に入り込み、木の内部を食い荒らしてしまう**特定外来生物(※)**です。
- 山梨県ではまだ発見されていません**が、被害を出さないためには早期に発見、駆除することが重要です。

※特定外来生物：もともとその地域にいなかった生物であって、生態系、人の生命・身体、農林水産物へ被害を及ぼすもの、又は及ぼすおそれがあるものとして外来生物法で指定された生物



発見したら発見場所の市町村又は
県林務環境事務所までご連絡をお願いします

成虫の概要

体長
2.5cm～
4cm



成虫は5月末
～8月に発生

特徴(フラス)

フラスとは、幼虫のフンと木くずが混ざったものです。



量が多く地表に降り積もるように
大量にたまることもある



- ・夏から秋に見られる
- ・2～5mmほどの太さ
- ・明るいオレンジから褐色

被害木の例



幼虫に
食い荒らされた木



成虫は幹に
細長い穴(長径2～3cm)を
あけて出てくる

画像：埼玉県環境科学国際センター

山梨県 森林環境部 自然共生推進課

〒400-8501 山梨県甲府市丸の内1-6-1

TEL:055-223-1520 FAX:055-223-1781

日本での発生状況

■ 発生県



もともと日本にいなかった外来のカミキリムシですが、平成24年愛知県で確認されて以来、急速に分布を拡大しています。

令和7年6月末までに15都府県で発生が確認されています。

山梨県では、まだ確認されていません。

クビアカツヤカミキリを見つけたら・・・

- ・探す手がかりは、**成虫またはフラス**です。
- ・発見した場所の**市町村または県林務環境事務所**までご連絡ください。
- ・クビアカツヤカミキリは、外来生物法で生きたまま持ち運ぶことは禁止されています。
- ・クビアカツヤカミキリの成虫・フラスと疑わしいものを発見した場合、可能な範囲で写真を撮るなどして情報提供をお願いします。
- ・管理者におかれましては成虫を発見したら**殺虫剤等で駆除をお願いします。**
※証拠として保存するため一匹は潰さずに保管し、提供をお願いします。

発生が懸念される場所

クビアカツヤカミキリはバラ科の樹木を好みます。

そのため、以下の場所はクビアカツヤカミキリ発見の可能性があります。

- ①公園・学校：敷地内にサクラの木がある場合注意が必要です。
- ②道路：街路樹となっているサクラはクビアカツヤカミキリに注意が必要です。
- ③農地：クビアカツヤカミキリはモモやスモモ、ウメの木を好むため、注意が必要です。

発見時連絡先

中北林務環境事務所

0551-23-3087

峡東林務環境事務所

0553-20-2720

峡南林務環境事務所

055-240-4140

富士・東部 林務環境事務所

0554-45-7810

発見した場所の市町村又は上記県林務環境事務所(環境・エネルギー課)までご連絡ください。

※農地で発見した場合は県農務事務所までご連絡ください。